



Via Latina 22

2024年2月 328号

総本部よりのお知らせーマリア会

東アフリカ地区での終生誓願式と誓願25周年記念者	1
インド従属地区での終生誓願式	2
スペイン管区、管区長任命	4
インド新地区の新しい地区長	4
マリアニスト教育に関するアジア・マリアニスト家族のシンポジウム	5
Jacob Gapp (1897-1943)、多くの移住者の中の一人	7
共に歩む教会についてのオンライン養成 (2024年3月)	9
マリアニスト十字架メダルが入手可能	9
平和のための祈り	9

東アフリカ地区での終生誓願式と誓願25周年記念者

2023年12月30日、John Kamau Mwaura士はマリア会の貞潔、清貧、従順、および堅忍の終生誓願を宣立しました。この色彩豊かな誓願式はナイロビで地区集会の終わりに執り行われました。John士の家族メンバー、東アフリカ地区の60名に近いマリアニスト修道者、信徒マリアニストたち、そして他に信徒たちがJohn士の終生誓願に立ち合いました。

地区長、Stephen Wanyoike Mburu師が誓願式の主司式者で説教をし、また総長の代理で彼の誓願を受け入れました。John士はマラウイのカロンガで自分の使徒的任務を続け、私たちはサポートと祈りを彼に約束します。



誓願台帳にサインするJohn Kamau士(中央)

この同じ式典の中で、東アフリカ地区はMichael Otieno師、Paul Kageche士、Joseph Maricky士、そしてStephen Wanyoike師の4名が誓願25周年を祝う中で、彼らの神への感謝を共にしました。私たちはこれら4名の兄弟たちへの変わらない神の慈しみと、彼らの堅忍を神に感謝します。



銀祝記念者（左より）Michael Otieno師、Paul Kageche士、Stephen Wanyoike師、Joseph Maricky士

インド従属地区での終生誓願式

2024年1月22日、インド従属地区は喜びの中に、Ajay Soreng士、Mathew Mullangi士、そしてPitar Tirkey士の終生誓願式を執り行いました。誓願式はインド、バンガロールのマリアニストキャンパスで行われました。



(中央 左より) Ajay Soreng士、Mathew Mulangi士、Pitar Tirkey士

これら3名の兄弟たち、Ajay、Mathew、そしてPitarは、揺るぎない信心、深い奉仕の精神、そして私たちマリア会の基本的価値を生き抜くことへの献身を示しながら、私たちの共同体の奉獻した会員たちでした。終生誓願に向かう彼らの歩みは、彼らの深い信仰と識別の証しでした。式典ミサはインド従属地区長、Sudhir Kujur師によって司式されました。Sudhir Kujur師は説教の中でAjay、MathewとPitarが、私たちの聖母と全教会への奉仕に生涯を捧げるため自ら宣立した清貧、貞潔、従順、および堅忍の誓願の意義を強調しました。



(中央 左より) Ajay Soreng士、Mathew Mulangi士、Pitar Tirkey士
Maximin Magnan士、Ed Violett士と従属地区評議員と共に

式典には次の人たちが列席していました：USA管区を代表してEd Violett士、総本部教育局長、Maximin Magnan士、韓国と日本からのSMとFMIの地区長、アジア・マリアニスト家族シンポジウムへの参加者、インドのマリアニスト、近くの他の修道会のメンバー、私たちの宣教活動の協働者、そして誓願者の家族と友人たちでした。祭儀のあと、伝統的踊りとお祝いの食事を通して、誓願者と共にお祝いする時間が設けられました。Ed Violett士とMaximin Magnan士がそれぞれ、管区長、Oscar Vasquez師と、総長、André-Joseph Fétis師からの祝辞を披露しました。

これは、出席者全員からお祝いの言葉を伝え、そしてこの意義深い喜びのひと時を分かち合う機会でした。Ajay士、Mathew士、そしてPitar士たちの歩みが、引き続く成長、霊的な充実、そして共同体への奉仕において誓願を生き抜くお恵みをもって満たされますように！

スペイン管区、管区長任命



総長評議員会は、Iñaki Sarasua Maritxalar師をスペイン管区、管区長として2024年9月1日に始まる2期目3年間の任期で再任しました。管区修道者の間で行われた意見聴取で、彼らはIñaki師の管区長再任を圧倒的に支持しました。私たちはIñaki師がこの兄弟的奉仕を謙遜と寛容さで受諾してくれたことに感謝します。

Iñaki師は1986年に初誓願を立てました。彼は最近、司祭叙階25周年を祝いました。管区評議員会での長年の奉仕（部長と管区長として）に加え、彼はスペイン管区の種々の共同体と事業体で、教師、司牧者として働いてきました。私たちの祈りと兄弟的サポートを彼に約束します。

インド新地区の新しい地区長



今年5月に、インド従属地区はインド地区に成ります。この新地区を指導するために、総長評議員会の同意を得た総長によって、地区長が任命されました。地区長はPrakash Kujur士です。彼は修道者たちの支えと彼の評議員会の助けを得て、この地区が歴史的な段階に入る時、この広大な行政単位を先導するという重要な任務を担うこととなります。私たちはこの重要な奉仕に彼が寛容さをもって応えてくれたことに感謝します。

地区は十全に構成された行政単位のあらゆる機能を有しています。新しい地区の創設は、修道生活の人的、霊的、そしてカリスマ的な基礎、すなわち決して完了することのない困難な任務、を強化することを継続することによって、新たな気概を持って堅固な修道生活を生きるよう、その地区のメンバーたちに要請します。マリア会全体に関していえば、インド地区はマリア会内で精いっぱい役割を果たすよう求められていますし、マリア会は全マリア会の生活へのインド地区の特色ある貢献を期待しています。



私たちはSudhir Kujur師、彼の補佐Darwin Joseph士、そして近年、従属地区に奉仕してきた現評議員会の全員に感謝します。私たちはこの新たな段階のために準備してきた彼らに特に感謝します。また、私たちは、その誕生から今日に至るまで根気強く寛大さを持ってインド行政単位に寄り添って来られたアメリカ管区に感謝をお伝えします。



これら大切な段階を私たちの祈りで支えましょう。

マリアニスト教育に関するアジア・マリアニスト家族のシンポジウム

2024年1月16日－23日、アジアのマリアニスト家族によって計画されたシンポジウムがインド、バンガロールにて開催されました。全体のテーマは“アジアの精神的伝統とデジタル時代におけるマリアニスト教育の特徴”でした。インドのバンガロールにあるアジア・ゾーンのマリアニスト研究センターによって調整されたこのシンポジウムは、インド、韓国、日本、およびベトナムから28名の参加者を集め、その中にはSMの修道者たちFMIのシスターたち、そしてMLCメンバーが含まれていました。全体のテーマは幾つかのサブテーマに分類され、マリアニスト教育の価値、アジアの霊生と伝統、そしてデジタル時代によって示される種々課題と機会の間にある複雑な相互作用についての微妙な違いを持つ調査を提供しました。

教育局長、E. Max Magnan士が、“マリアニスト教育の特徴”（CEM）について発表することで、この会議を開始しました。“マリアニスト精神とは何か”の説明で始めて、彼は先ず、どの様にして“マリアニスト教育の特徴”（CEM）はこのマリアニスト精神から生まれるかを説明しました。次に彼はアジア社会の様々な文化的、精神的な背景にこれらの特徴を適応させるという今日的な課題と、この任務を成し遂げるために求められる仕事を強調しました。2番目の発表者、セントガブリエルのインド人モンフォール会の修道者は、アジアの精神的伝統について“彼の見解”を詳しく解説し、参加者とそれを分かち合いました。この洞察に満ちた発表は、アジアの霊生の豊かさをマリアニストの教育哲学に繋げる一つの橋として役立ちました。



シンポジウム参加者：カルナータカ州の州会議事堂近く　バンガロールにて

世界的レベルで教育に影響を及ぼす最先端、デジタル時代は3つのサブテーマに分けられました。“バンガロールのキリスト大学”で教授をしている、無原罪のマリアのカルメル会の3名の修道者がこの近代の発展について彼らの考えを展開し続けました。最初の発言者は、“人工知能と教育”の間の繋

がり、その可能性と危険性の両方を意識しながら開示しました。2番目の発言者は、教育に（ビデオゲーム方法を使う）“Gamification”とい考え方に皆の注意を引き、学習者の自信とやる気を燃え上がらせる可能性を強調しました。3番目の発言者は、“アジアにおける教育のためにデジタル時代に取り組むべき重大な選択”のテーマを発表してこのセッションを締めくくりました。

インドにおける女性の権利に関する優れた活動家であるAnita Cherian女史は、“アジア的文化における若い女性たちと教育“について焦点を当てました。彼女の発表は、インクルージョンと平等へのこのシンポジウムの取り組みの一部となっており、多様なアジアの背景における若い女性の教育に関して重要な問題に的を絞っていました。発言の順番はタルブの聖ヨゼフ修道会のシスターLalitha Thomasで終わりました、彼女はローマでの共に歩む教会のシノドスのアジアの2名の代表者の1人でした。彼女はこのシノドスの経験について報告し、共に歩む教会の重要なテーマについて貴重な対話を盛り上げました。



研修中のシンポジウム参加者

出席者の間の言語と教育経験の大きな多様性にもかかわらず、このシンポジウムは豊かで興味深い意見交換を助成するものでした。今日の教育情勢における彼らの福音宣教の課題に関して、貴重な知識が得られ、意識が高められました。このシンポジウムは単に知的な討議の基盤を提供しただけではなく、同時にゾーンメンバーがアジアでのマリアニスト教育の変化する状況を導けるようにしてくれるはずの協働への強い願望を心の中に植え付けました。

2024年1月22日に、シンポジウムの閉会ミサで、3名のインド人修道者、Ajay Soreng, Mathew MullangiそしてPitar TirkeyがDeepahalliで終生誓願を宣立しました。2019年の東京、今年2024年のバンガロールの後、アジアのマリアニスト家族メンバー間での意見交換と専門家からの助言の体験のため、次の会議は韓国で2026年－2027年に予定されています。

Jacob Gapp (1897-1943)、多くの移住者の中の一人



私たちは福者Jacob Gappの真実を曖昧にしない性格と、国家社会主義から出てくる書物について彼が行った分析を知っています：彼は“ナチズムとカトリック教義は両立しない”ことを確信していました。彼は教皇ピオ11世の書簡：『ミット・ブレネンダー・ゾルゲ』*Mit brennender Sorge* (深き憂慮に満たされて)によって、この自分の分析に確信を感じていましたが、この教皇書簡は1937年3月21日にドイツの全カトリック小教区に秘密裏に配布され読まれました。彼はこの真実を自分だけに留めておくことは出来ませんでした。彼はこれを彼の生徒たちに教え、知りたい他の人にも教えました。

1938年3月12日、ドイツはオーストリアを併合しました。Gapp神父はグラーツにおいて先生であり教育者でした。彼はまた、最も貧しい人たちを助ける仕事をしていました。ナチ党員が学校を占拠してくると恐れたマリアニスト学校の校長は、修道者がカギ十字紋章を身に付け、ヒットラー式敬礼をするよう求めましたが、当然のこと、Jacobはそうするのを拒みました。

彼の上長はJacobをフライシュタットに転任させましたが、状況は改善せず、彼はナチズムとカトリック教義が一致しないことを教え続けました。

Jung師が総長補佐であった1938年の夏に、状況は更に厳しくなっており（学校は当局に支配されていました）、そして修道者たちは他の国に行き活動をするよう求められた。マリアニスト学校は全て国有化されたので、Gapp神父はチロルの小教区で主任司祭としての地位を引き受け、教える事にまだ多少の自由があった学校でカトリック要理を教えていました。



彼は若者たちの質問に答え、ナチズムとキリスト教信仰との不一致を彼らに示しました。告発されて、彼は検察官に事実を認めて、要理教師として停職させられました。家族のもとに避難し、彼は色々な仕事に就きました。1938年12月11日に、彼は自分が生まれた場所、ヴァッテンスの小教区で説教しました。彼の兄弟が警告したにもかかわらず、彼は教会維持費に反対するナチのキャンペーンを公然と非難しました。彼はまたRosenbergの書物：“20世紀の神話”を読まないよう人々に警告をしました。サイは投げられ、彼は去らねばなりません、しかもすぐに！

知人に取ってもらったパスポートとフランスへのビザを持って、この政治的亡命者はウイーンへ行き、そしてミラノに向かいました。数日間カンヌとモントウバンのマリアニスト学校で過ごした後、彼はボルドーのマドレーヌ聖堂に到着しました。しかしながら、皆を一括して扱ったので、ドイツ人に対する批判で雰囲気重苦しいものでした。フランスにいたのでJacques神父と呼ばれていたJacobは、時々、同国人を援護して激高しました。フランスドイツの敵対は第一次大戦後もまだ強く、ま

たナチズムの台頭は状況を悪化させました。それに加えて、Jacques神父が共同体で手助けしている間、彼はマドレーヌの図書室に閉じこもっていたので、動き回ることもなく、人との接触も欠いていました。彼は上長に自分は他の共同体に移動したいと告げました。

スペインが彼に新たな難民保護を提供する可能性がありました。1939年5月23日、彼はサンセバスチアンに向けてボルドーを去りましたが、そこでは、一人の若い聖職者からのタイミングの悪いナチ式敬礼の後は、フランスにいる時より好ましい雰囲気を感じました。しかしながら、彼は、ドイツで何が起きているかについての分析に欠けているとスペイン人を批判しました。Santiago Gapp神父は心の大きな不安定とホームシックを体験しました。彼は一つの共同体から他の共同体、：カディス、サンセバスチアン、レケイティオ、バレンシア ... そして最終的に、アンダイエで終結するドイツ人の“友人たち”から提案された人をだます”小旅行”へと移動しました。このアンダイエで彼はGestapoに捕らえられました。ベルリンに移送され、最後まで自分の信仰と祖国に対する愛を表明した後、彼は祖国に対する裏切り者と宣告され、1943年8月13日処刑されました。



追われた移住者のように、Jacobは今日の移住者と多くの共通点を持っています。政治的亡命、誤解、偏見、そして固定観念などは、私たちの善意にもかかわらず時として子供のように扱われる非常に多くの故郷や国を失った人々に付きまといまいます。彼の体験は、私たちが移住現象に広い視野を持ち、過剰な表面的分析に注意をし、そして富を分かち合えるようになる違いを持った彼らを敢えてあるがままに受け入れるよう促しています。私たちは彼らの生活に接し、彼らの証言、彼らが苦しんだ虐待に耳を傾け、彼らをより理解するために彼らの国の地政学要因に心を開きましょう。

他の地域から来るこれら追われた移住者たちに、私たちはどのように心を開くようにすれば良いでしょうか？祈りにおいても彼らを助けることを忘れないようにし、そして真理の証言者として自分のいのちを捧げた亡命移住者、福者Jacob Gappのとりなしに彼らを委ねましょう。

共に歩む教会についてのオンライン養成（2024年3月）

ボストン大学の協力で、共に歩む教会に関する大陸間オンライン研修（MOOC）が可能となっています。テーマは：本質的な共に歩む教会に向かって。発表者は異なる国々からの専門家たちです。オンラインでの登録が必要です。研修は無料です。

この<https://t.ly/ehoPw>リンクを立ち上げると、皆さんは7か国語での、研修プログラム、その方法論、発表者の詳細、そして登録のための情報を見ることが出来ます。

私たちは興味があり、この機会を活用出来る皆さんにこれにお勧めします。

マリアニスト十字架メダルが入手可能



総本部は新たに造ったマリアニスト十字架メダルを限定数供給します。これらは対変色の金属で作られて、紐通しの穴が上部に付いており、クサリが容易に通せます。（クサリは付属していません）



十字架メダルの実サイズは、右の写真に示されている通り、3cm×4, 5cmです。

値段は各1つ+郵便コスト込みで2, 85ユーロです。興味ある人は、webmaster@smcuria.it にコンタクトして注文するか、更なる情報を依頼してください。

平和のための祈り



マリア様、私たちをご覧ください！私たちはここ、あなたの前にいます。

あなたは私たちの母であり、私たちの悪戦苦闘、私たちの心の痛みをご存じです。平和の女王であるあなたは、私たちの世界を引き裂いている紛争と戦争によって苦しんでいるあなたの多くの子供たちをご覧ください。私たちが共に、また私たちのために苦しみます。

お母様、これは暗闇の時です。この暗闇の時に、私たちはあなたに目を向け、そしてあなたのみ顔を考慮して、自分自身と私たちの問題をあなたの母なるみ心に委ねます、あなたのみ心は私たちの心配と恐れをご存じです。

旅籠にイエスの泊まる場所がなかったとき、あなたの心配はどれほど大きかったでしょう！

ヘロデがイエスを殺そうと考えたので急いでエジプトに逃げたとき、

あなたの恐れはどんなに大きかったことでしょう！

神殿でイエスを見失い、彼を見つけるまで、あなたの苦悩はどれほど大きかったことでしょうか！
しかしながらお母様、これら試練のさ中で、あなたはその力を示し、大胆に行動されました：
あなたは神に信頼し、そして思いやりのある世話で心配事に、
愛をもって恐れに、受け入れることで苦悩に対応されました。
お母様、あなたは退くことなく、決定的な場面では、常に率先して行動されました：
あなたは急いでエリザベトを訪問されました；
カナの婚礼で、あなたはイエスの最初の奇跡を促しました；
高間で、あなたは弟子たちを一つに纏めておられました。
そして、カルワリオの丘で剣があなたの心を貫いたとき、
お母様、あなたは謙遜と強さで悲しみの夜を過ごしながら
復活の希望をはっきりと心に収めておられました。

あなたの忠実な民は、あなたを**救いのあけぼの**と呼んでいます；
お母様、光のきらめきが紛争の暗い夜を照らすようにしてください。
聖霊の住まいであるお母さま、
平和の道を探そう、国々の指導者たちを照らしてください。
全ての人々の女王であるお母さま、
悪に侵され、権力と憎悪で目が見えなくなったあなたの子供たちを和解させてください。
すべての人々と親しいあなたは、私たちに近づけてくださいます。
全ての人に共感されるあなたは、お互いに思いやるよう私たちに教えてください。

主の優しい愛を示してくださるあなたは、私たちに主の慰めと平和の証人としてくださいます。
平和の女王であるお母様、私たちの心に神の調和の賜物を注ぎ込んでください。アーメン。

訂 正

Via Latina 22の1月号版の誓願、叙階記念者リストで日付をデータベース記入の際、誤りがあった
ので2つの訂正をお知らせします：

- Robert Witwicki師(FR)の叙階日は間違いで；正しい日は1974年4月17日です。
- José Antonio Barbudo師(ES)の50周年の叙階日2024年9月14日です。

最近の総本部通信

- 計報：21号
- 1月23日：総会報#2、第36回総会の準備委員会から3ヶ国語にマリア会全員へ送付
- 1月27日：SM3部門 160号—2024年マリアニスト連帯基金とマリアニスト養成基金の配分、
3ヶ国語で財務局長、Michael McAward士からマリア会全員へ送付

電子メールアドレス変更

Bro. Sang Joon Park (KO): Bro.sangjoonpark@gmail.com